



2009年度中間決算説明会

2009年11月20日
株式会社 損害保険ジャパン

2009年度中間決算 総括

〈参考〉証券化商品関連エクスポージャー

〈参考〉2009年度中間決算 主要指標

2009年度中間決算(ポイント)

国内 損保	保険引受	<ul style="list-style-type: none"> ◆保険引受利益は大幅に改善 (08年度中間42億円⇒09年度中間182億円) ・E/I損害率は低下傾向 (08年度中間61.9%⇒09年度中間59.1%) ・自然災害による発生損害額は期初予想を大幅に下回る (08年度中間50億円⇒09年度中間30億円、09年度中間・期初予想175億円) ・W/P損害率は金融保証保険の保険金支払い、保険料の減少などにより上昇
	資産運用	<ul style="list-style-type: none"> ◆保有株式の配当減少や有価証券売却益の減少により資産運用粗利益は減少 (08年度中間274億円⇒09年度中間192億円、政策株式の売却は下半期を中心に実行予定) ・有価証券評価損は改善 (08年度中間△82億円⇒09年度中間△41億円) ・円高進行に備えた為替ヘッジにより金融派生商品損益は+73億円
	金融保証	<ul style="list-style-type: none"> ◆支払備金の戻入益が発生したことなどから11億円の利益を計上 ・過年度に支払備金を計上したABS-CDO保証の一部案件において、 支払備金を下回る一括精算金の支払いにより保証契約者との合意解約を実行 ・ABS-CDOの支払備金控除後保証残高は536億円まで減少(09年10月末時点) (08年3月末は2,594億円)
国内生保	<ul style="list-style-type: none"> ◆保障性商品への販売シフトが奏功、医療保険、収入保障保険の販売が好調 	
海外	<ul style="list-style-type: none"> ◆海外子会社は引き続き安定的に利益貢献 	

連結決算概要



子会社の一部は成長途上、中間純利益の連単倍率は0.96

	経常利益		中間純利益	
	連結調整前	連結調整後	連結調整前	連結調整後
国内損害保険事業 (損保ジャパン)	321億円	324億円	307億円	309億円
国内生命保険事業 (損保ジャパンひまわり生命)	9億円	△1億円	4億円	△6億円
海外保険事業	12億円	11億円	6億円	4億円
その他事業	△9億円	△15億円	△9億円	△14億円
合 計		318億円		293億円

※その他事業は、損保ジャパン、損保ジャパンひまわり生命、海外保険会社を除く全ての連結子会社、持分法適用会社

単体決算概要

保険引受利益が大幅に改善、経常利益、中間純利益も増加

	2008年度中間	2009年度中間	前年度比
正味収入保険料	6,748億円	6,416億円	△4.9%
（除く自賠責保険）	5,740億円	5,593億円	△2.6%
損害率	63.5%	74.7%	+11.2pt
（除く金融保証・自賠責保険）	59.4%	60.1%	+0.7pt
事業費率	33.8%	34.2%	+0.4pt
（除く自賠責保険）	35.2%	35.2%	+0.0pt
コンバインドレシオ	97.3%	108.8%	+11.5pt
（除く金融保証・自賠責保険）	94.6%	95.3%	+0.7pt
保険引受利益	42億円	182億円	+139億円
資産運用粗利益	274億円	192億円	△82億円
経常利益	293億円	321億円	+28億円
中間純利益	172億円	307億円	+135億円

※除く金融保証は、金融保証保険に係わる保険金のみを控除しており、保険料、損害調査費は控除していない

単体決算：正味収入保険料

厳しい経済環境下において、減収基調が続く

正味収入保険料

(単位：億円)

	金額	増減	増収率
火災	676	△22	△3.2%
海上	121	△46	△27.5%
傷害	674	△10	△1.6%
自動車	3,226	△68	△2.1%
自賠責	823	△184	△18.3%
その他	894	+0	+0.1%
合計	6,416	△332	△4.9%
合計(除く自賠責)	5,593	△147	△2.6%

◆自動車保険 営業成績保険料ベース台数・単価・保険料

	台数	単価	保険料
ノンフリート	△0.8%	△2.7%	△3.5%
フリート	△3.7%	+4.1%	+0.2%
合計	△1.3%	△1.7%	△3.0%

<火災保険>

住宅着工件数の低迷にともなうローン火災の減収などにより22億円の減収

<海上保険>

物流の減少、円高の影響などにより46億円の減収

<傷害保険>

医療保険を中心とした第三分野が増収したものの、第三分野以外が減収したことにより10億円の減収

<自動車保険>

無事故割引の進行などによる単価の減少、新車販売の伸び悩みなどによる契約件数の減少により68億円の減収

<自賠責保険>

08年4月の料率引き下げの影響により184億円の減収

<その他>

賠償責任保険が好調だったことにより微増

単体決算：損害率

E/I損害率は低下傾向、自然災害による発生損害額は期初予想を大幅に下回る

(単位: 億円)

E/I損害率	発生損害額		損害率	
		増減		増減
火災	220	△64	31.0%	△8.7pt
海上	59	△23	53.4%	△3.9pt
傷害	317	+30	58.3%	+6.6pt
自動車	1,982	△13	68.4%	△0.1pt
その他	344	△118	48.5%	△15.9pt
合計	2,923	△188	59.1%	△2.8pt

※除く自賠責、家計地震

◆自然災害正味発生損害額(当年度発生のみ)

(単位: 億円)

	2008年度 中間	2009年度 中間
支払保険金	31	25
普通備金	19	5
発生損害額	50	30

(単位: 億円)

W/P損害率	保険金		損害率	
		増減		増減
火災	289	+4	44.5%	+2.1pt
海上	63	△9	56.5%	+10.2pt
傷害	331	+0	54.3%	+1.5pt
自動車	1,942	△40	67.6%	+0.1pt
自賠責	777	△37	101.8%	+14.8pt
その他	1,004	+584	116.1%	+65.8pt
合計	4,408	+501	74.7%	+11.2pt
合計(除く金融保証・自賠責)	3,038	△52	60.1%	+0.7pt

※除く金融保証は、金融保証保険に係る保険金のみを控除しており、保険料、損害調査費は控除していない

- ◆W/P損害率は、金融保証保険の保険金支払い、保険料の減少などにより上昇
- ◆金融保証保険の保険金支払いは、支払備金の取り崩しによって対応しているため、保険引受利益へのマイナス影響はない
(金融保証保険: 支払保険金592億円、支払備金取崩650億円)
- ◆自動車保険は、保険料の減少によりW/P損害率が若干上昇しているが、事故発生件数の減少などにより、支払保険金実額は40億円減少

単体決算：事業費率

人件費、物件費ともに実額ベースで減少

(単位：億円)

	社費合計		保険引受事業費		事業費率	
		増減		増減		増減
手数料			1,072	△38	16.7%	+0.3pt
人件費	824	△19	532	△11	8.3%	+0.2pt
物件費	661	△32	534	△34	8.3%	△0.1pt
税金等	77	△4	52	△3	0.8%	△0.0pt
合計	1,563	△56	2,191	△87	34.2%	+0.4pt

<人件費>

社員給与の減少：△22億円

<物件費>

PT-Rなど新規システム開発コストの増加：+38億円
全社的なコスト削減の取り組みなど：△70億円

<人件費>

社員給与の減少：△11億円

<物件費>

PT-Rなど新規システム開発コストの増加：+28億円
全社的なコスト削減の取り組みなど：△62億円

単体決算：資産運用

保有株式の配当減少や有価証券売却益の減少により資産運用粗利益は減少

資産運用粗利益

(単位：億円)

	2008年度 中間	2009年度 中間	増減
利息及び配当金収入	559	463	△96
積立保険料等運用益振替	△231	△211	+19
ネット利配収入	328	251	△76
有価証券売却損益	117	12	△105
国内株式売却損益	85	18	△66
有価証券評価損	△82	△41	+41
国内株式評価損	△48	△39	+8
金融派生商品損益	△32	73	+105
その他損益	△56	△103	△46
資産運用粗利益 計	274	192	△82
退職給付信託設定益(特別利益)	-	150	+150

※上記のうち、外貨建ファンドの解約損益は、次のとおり。

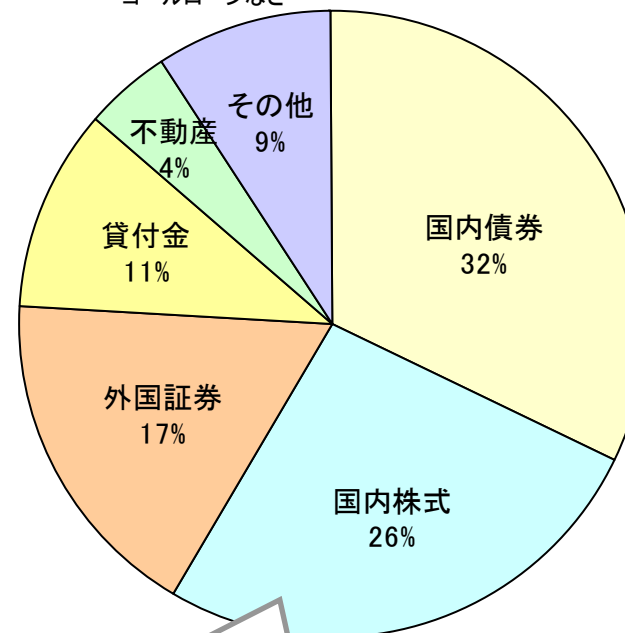
2009年度中間：+23億円(利息及び配当金収入+84億円、その他損益△61億円)

2008年度中間：+58億円(利息及び配当金収入+78億円、その他損益△19億円)

運用資産残高

2009年度中間期末
合計：4.4兆円

※その他は主に預貯金、
コールローンなど



含み益がゼロとなる日経平均の水準：約5,100円

単体決算：金融保証保険

◆支払備金の戻入益(※)が発生したことなどから11億円の利益を計上

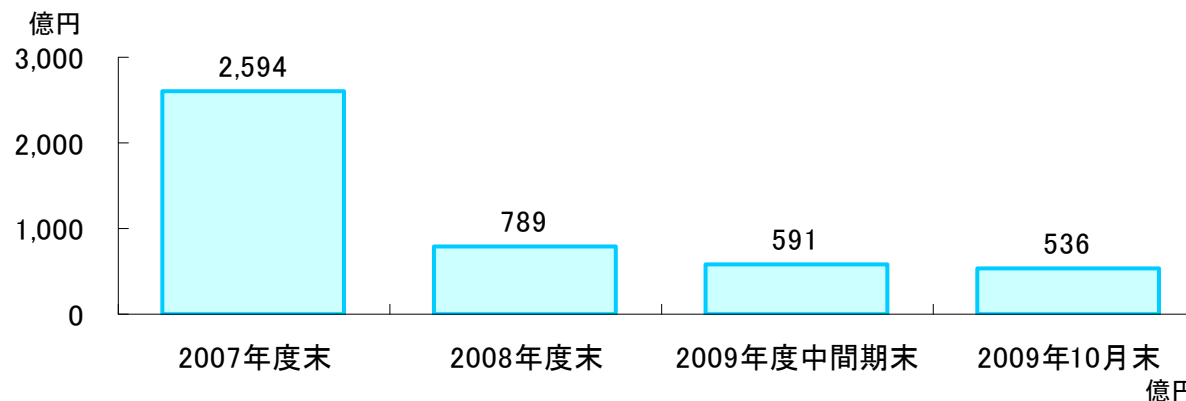
(※)過年度に支払備金の引当処理を行ったABS-CDO保証の一部案件において、支払備金を下回る一括精算金の支払いによる保証契約者との合意解約を実行

◆ABS-CDOのネットエクスポージャー(支払備金控除後保証残高)は536億円まで減少(09年10月末時点)

2009年度中間期損益 (金融保証保険全体)

+11億円 (ABS-CDO保証+13億円、ABS-CDO保証以外△2億円)

ABS-CDO保証の ネットエクスポージャー



ABS-CDO保証(残高)	2007年度末	2008年度末	2009年度中間期末	2009年10月末
保証残高	2,894	2,180	1,332	1,234
支払備金	△ 300	△ 1,390	△ 741	△ 697
支払備金控除後保証残高	2,594	789	591	536

ABS-CDO保証(損益)	2007年度	2008年度	2009年度中間期
支払保険金(含む合意解約)	-	△ 376	△ 589
支払備金積増/取崩(含む為替ヘッジ損益)	△ 300	△ 1,090	603
損益	△ 300	△ 1,466	+13

国内生命保険事業(ひまわり生命)

保障性商品への販売シフトが奏功、医療保険、収入保障保険の販売が好調

2009年度中間実績

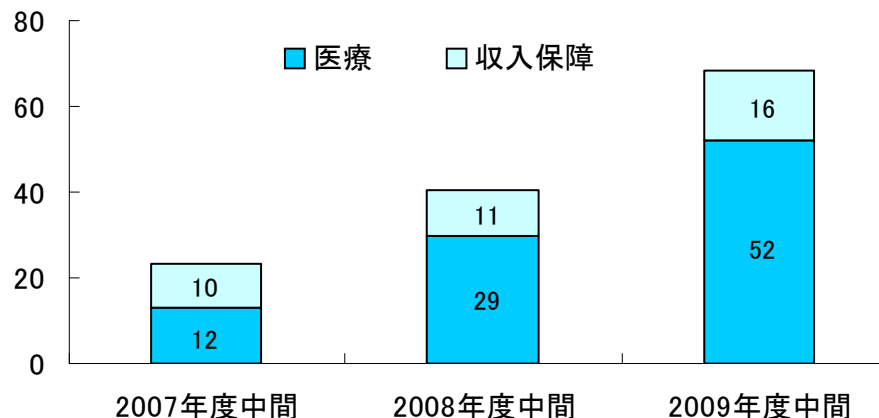
◆新契約年換算保険料 : 122億円 (+23.4%)

◆保有契約年換算保険料 : 1,967億円 (△4.2%)

- 積極的な営業活動により新契約年換算保険料が引き続き増収、特に、医療保険『健康のお守り』(2008年8月発売)、収入保障保険『家族のお守り』(2009年5月発売)の販売が好調
- 保有契約年換算保険料の減少は、主に逡増定期保険の解約によるもの

主要商品の販売実績

(億円) 年換算保険料(新契約)



(単位: 億円)

	07中間	08中間	09中間
医療	12	29	52
収入保障	10	11	16
その他	62	59	54
合計	85	99	122

海外事業



海外子会社は引き続き安定的に利益貢献

	連結調整後 中間純利益	ポイント
SJアメリカ	6億円	引き続き安定的に利益を計上
SJヨーロッパ	△2億円	資産運用利益が減少
SJ中国	△1億円	広東支店開設などにより保険料、事業費ともに増加
SJシンガポール	2億円	保険料は安定的に増加、損害率も改善
南米安田	1億円	2009年7月にブラジルの保険会社マリチマ社に50%出資

2009年度通期業績予想(連結)

	経常利益		当期純利益	
	連結調整前	連結調整後	連結調整前	連結調整後
国内損害保険事業 (損保ジャパン)	450億円	450億円	330億円	330億円
国内生命保険事業 (損保ジャパンひまわり生命)	30億円	0億円	20億円	△10億円
海外保険事業	20億円	30億円	10億円	20億円
その他事業	△20億円	△20億円	△20億円	△20億円
合 計		460億円		320億円

※その他事業は、損保ジャパン、損保ジャパンひまわり生命、海外保険会社を除く全ての連結子会社、持分法適用会社

2009年度通期業績予想(単体)

	2008年度(実績)	2009年度(予想)	前年度比
正味収入保険料	12,904億円	12,500億円	△3.1%
(除く自賠責保険)	11,104億円	10,900億円	△1.8%
損害率	70.3%	75.9%	+5.6pt
(除く金融保証・自賠責保険)	62.8%	63.2%	+0.4pt
事業費率	34.5%	34.9%	+0.4pt
(除く自賠責保険)	35.8%	35.9%	+0.0pt
コンバインドレシオ	104.9%	110.8%	+5.9pt
(除く金融保証・自賠責保険)	98.7%	99.1%	+0.4pt
保険引受利益	△922億円	△50億円	+872億円
資産運用粗利益	△547億円	640億円	+1,187億円
経常利益	△1,538億円	450億円	+1,988億円
当期純利益	△739億円	330億円	+1,069億円

※除く金融保証は、金融保証保険に係わる保険金のみを控除しており、保険料、損害調査費は控除していない

2009年度通期業績予想(単体)

正味収入保険料

	2008年度			2009年度		
	実績	増減	増収率	予想	増減	増収率
火災	1,449億円	△9億円	△0.7%	1,408億円	△41億円	△2.9%
海上	298億円	△14億円	△4.8%	239億円	△59億円	△20.0%
傷害	1,263億円	△21億円	△1.7%	1,253億円	△10億円	△0.9%
自動車	6,540億円	△17億円	△0.3%	6,420億円	△120億円	△1.8%
自賠責	1,799億円	△485億円	△21.2%	1,600億円	△199億円	△11.1%
その他	1,552億円	+3億円	+0.2%	1,580億円	+28億円	+1.8%
合計	12,904億円	△545億円	△4.1%	12,500億円	△404億円	△3.1%
合計(除く自賠責)	11,104億円	△60億円	△0.5%	10,900億円	△204億円	△1.8%

正味支払保険金

	2008年度				2009年度			
	実績		損害率		予想		損害率	
		増減		増減		増減		増減
火災	561億円	△26億円	40.3%	△1.4pt	569億円	+8億円	42.0%	+1.8pt
海上	149億円	+10億円	54.0%	+6.9pt	131億円	△18億円	59.8%	+5.8pt
傷害	668億円	+81億円	57.4%	+7.9pt	667億円	△1億円	57.8%	+0.4pt
自動車	4,098億円	+38億円	70.0%	+1.2pt	4,014億円	△84億円	69.9%	△0.1pt
自賠責	1,604億円	△8億円	95.7%	+19.5pt	1,519億円	△85億円	102.6%	+6.9pt
その他	1,245億円	+191億円	84.1%	+12.5pt	1,840億円	+595億円	120.3%	+36.1pt
合計	8,327億円	+286億円	70.3%	+5.2pt	8,740億円	+413億円	75.9%	+5.6pt
合計(除く自賠責・金融保証)	6,343億円	△85億円	62.8%	△0.0pt	6,260億円	△82億円	63.2%	+0.4pt

リスクと資本の状況(2009年9月末)

リスク総量に対する純資産の水準は十分であり、財務健全性を確保

リスクと資本(2009年9月30日時点)

リスク総量: 約1兆1,500億円

約4,700億円の超過

純資産: 約1兆6,200億円

- <リスク総量> 保険引受リスク量、資産運用リスク量、オペレーショナルリスク量の合計からリスク間の分散効果を控除
⇒ VaR法(信頼水準99.95%、保有期間1年)により定量化
- <純資産> 現存契約の将来キャッシュフローの現在価値化等、所要の調整を反映した純資産、資本性を有する準備金、不動産含み益の合計

格付け

S&P	Moody's	R&I	JCR
AA-	Aa3	AA	AA+

2009年度中間決算 総括

〈参考〉証券化商品関連エクスポージャー

〈参考〉2009年度中間決算 主要指標

証券化商品等に対する当社エクスポージャーの概況(2009年9月末アップデート)

証券化商品等への投融資 <資料1>

- ◆ **2009年9月末投融資残高**
567億円 (2009年3月末比69億円の減少)
- ◆ **2009年度中間期(4-9月)損益**
△13億円 (評価損等:0億円、含み損益:△13億円(主に為替の影響によるもの))

金融保証保険(2008年度以降新規引受は停止) <資料2~4>

- ◆ **2009年9月末保証残高**
金融保証保険全体で6,807億円 (2009年3月末比1,468億円の減少。円高や一部の案件での償還による)
支払備金控除後のABS-CDO保証残高は591億円 (2009年3月末比198億円減少)
- ◆ **2009年度中間期(4-9月)損益**
+11億円 (支払備金戻入益(注)が発生したことなどから11億円の利益計上となった)
(注)過年度に支払備金の引当処理を行ったABS-CDO保証の一部案件において、支払備金を下回る一括精算金の支払いによる保証契約者との合意解約を行ったことによるもの。

<資料1> 証券化商品等への投融資

(2009年9月末、単位: 億円、1ドル=90.21円)

区分		残高	2009年度4-9月 損益状況		
			評価損等(P/L)	含み損益	損益計
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)(注1)	0	0	0	0
	企業CDO(1次証券化商品)(注2)	-	-	-	-
	小計	0	0	0	0
ABS	RMBS(注3)	335	0	△1	△1
	海外RMBS(注4)	(28)	(-)	(△5)	(△5)
	国内RMBS	(307)	(0)	(3)	(3)
	CMBS(注5)	188	0	△10	△10
	海外CMBS	(25)	(-)	(△4)	(△4)
	国内CMBS	(163)	(0)	(△5)	(△5)
	その他ABS	8	-	△1	△1
	海外ABS	(8)	(-)	(△1)	(△1)
	国内ABS	(-)	(-)	(-)	(-)
	小計	532	0	△13	△13
SIV(投資ビークル)への投資		-	-	-	-
レバレッジド・ファイナンス(注6)		34	-	-	-
合計		567	0	△13	△13
【参考】ヘッジファンド(米国サブプライムローン関連エクスポージャー)		+13	買建(ロングポジション)と売建(ショートポジション)をネットしたエクスポージャー		

(注1) ABS-CDO(2次証券化商品)とは、RMBSやCDO、CLO等の証券化商品を裏付けとして更に証券化した2次証券化CDO。すべて海外案件(BBB未満)
(注2) 企業CDO(1次証券化商品)とは、社債や企業融資、個別銘柄のCDSなど企業の信用リスクを直接の裏付資産としている1次証券化CDO(財政融資CLOを除く)
(注3) RMBSとは、住宅ローンを裏付として発行される証券(政府系機関が発行するRMBSを除く)。ほぼ全額が投資適格クラス(BBB以上)であり、うち82%はAAA
米国住宅金融公社関連のエクスポージャー(RMBS、機関債)は、542億円(2009年3月末対比57億円減少)。評価損等(P/L)は発生していない
(注4) 米国モロライン保証債48億円を含む
(注5) CMBSとは、商業用不動産ローンを裏付として発行される証券
(注6) レバレッジド・ファイナンスとは、企業の買収・合併の際に提供される、主に被買収企業のキャッシュフローに依拠したファイナンス。すべて国内案件

<資料2> 金融保証保険

(2009年9月末、単位：億円、1ドル=90.21円)

区分		保証残高				2009年度 中間期損益 (注5)	
		元受 (注3)	特約受再 (注4)	合計	支払備金 引当済		支払備金控除後 保証残高
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)	1,326	6	1,332	741	591	13
	企業CDO(1次証券化商品)	2,451	47	2,498	-	2,498	-
	小計	3,777	53	3,830	741	3,089	13
ABS	RMBS(注1)	415	126	541	4	536	△2
	海外RMBS	(3)	(126)	(129)	(4)	(125)	(△2)
	国内RMBS	(411)	(-)	(411)	(-)	(411)	(-)
	CMBS	-	-	-	-	-	-
	その他ABS	149	309	458	5	452	0
	海外ABS(注2)	(38)	(309)	(347)	(5)	(342)	(0)
国内ABS	(110)	(-)	(110)	(-)	(110)	(-)	
	小計	564	435	999	9	989	△3
米国地方債等		-	1,977	1,977	0	1,977	0
合計		4,341	2,465	6,807	751	6,056	11

(注1) RMBSはほぼ全額が投資適格クラス(BBB格以上)であり、うち81%はAAA格である

(注2) 海外ABSのうち、米国の個人ローン関連ABSは8%であり、その他は主に企業関連と信(リース債権等)などが占める

(注3) 元受には、他社からの任意再保険契約も含んでいる。なお、元受には、米国モノライン保証債に対する金融保証保険109億円を含む

(注4) 特約受再とは、元受会社が引受けた保険契約の一定割合を再保険として引受ける契約

(注5) 2009年4月-9月に発生した支払保険金592億円(保証契約者との合意解約に伴う一括精算金432億円を含む)と支払備金戻入額604億円(為替予約によるヘッジ損益を含む)の合計。なお、金融保証保険は保険契約であるため、評価損益、含み損益はない

〈資料3〉金融保証保険：直近のABS-CDO保証案件一覧（特約受再を除く）

（2009年10月末、単位：億円、1ドル=91.39円）

案件番号 (注1)	案件格付 (S&P/MDY) (注2)	発行年度	保証残高 (注3)	劣後割合 (注4)	裏付資産の格付別構成割合						サブプライム 比率
					AAA	AA	A	BBB	BB以下	内デフォルト等 (注5)	
CDO保証①	AAA/Caa2	2003	91	17%	33%	10%	5%	15%	37%	5.5%	0%
CDO保証②(注6)	AAA/B2	2004	82	43%	34%	38%	0%	8%	20%	16.3%	0%
	AAA/B2	2004	100	24%							
CDO保証④(注7)	BBB+/B3	2004	114	14%	11%	22%	11%	10%	47%	2.7%	9%
CDO保証⑤(注7)	BB+/Caa2	2005	109	14%	1%	11%	6%	5%	78%	6.2%	15%
CDO保証⑦	B+/C	2006	182	8%	5%	19%	28%	12%	36%	0.0%	31%
CDO保証⑨	-/Ca	2006	274	22%	6%	4%	4%	4%	82%	21.3%	10%
CDO保証⑪	B-/Caa1	2004	274	16%	1%	20%	21%	12%	46%	15.1%	-
ABS-CDO 合計			1,228	17%	8%	16%	12%	8%	56%	8.2%	-
支払備金控除後保証残高(注8)			530								

(注1) CDO保証③、⑥、⑧、⑩、⑫は、保証契約者との合意解約および当社保証部分の全額償還により保証終了となったため、案件一覧から除外している

(注2) 案件格付は2009年11月11日時点。なお、CDO保証④、⑤は任意受再案件であり、2案件の格付は、当社保証部分より上位クラスを含む出再会社の保証部分全体に対する格付である

(注3) 保証元本額であり、一部の案件では、他に利払いを保証対象としている。なお、この保証対象の元利払いが不足した場合に当社の保証履行義務が生じる

(注4) 劣後割合は、当社の保証する優先部分よりも下位に位置する劣後部分の裏付資産に対する割合。なお、優先部分の元本償還に伴い劣後割合は増加する

(注5) 案件ごとに規定されているデフォルト定義等に基づき判定を行い、回収考慮後の元本毀損額としている

(注6) CDO保証②は、同じCDOの異なるクラスを保証している

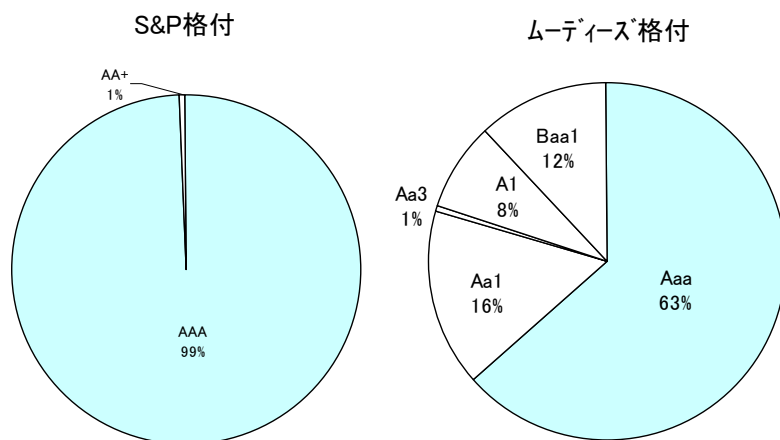
(注7) CDO保証④、⑤は、裏付資産全体の格付水準に連動する格付基準値がトリガー値を下回った場合、投資家の選択により全裏付資産を第三者に売却してCDOを清算できる仕組みを持つが、CDO⑤は清算の可能性はなくなっている

(注8) 支払備金控除後保証残高(2009年10月末)は、2009年9月末の同残高(585億円)に為替変動および一部案件での償還等を考慮し算出している。なお、特約受再は含まない

〈資料4〉金融保証保険：直近の企業CDOの状況（特約受再を除く）

- ・直近（2009年10月末現在）の元受企業CDOの保証残高は2,286億円であり、個別案件を精査した結果、現時点で損失を見込んでいる案件はない。
- ・元受企業CDOの平均残存期間は約2.3年であり、今年度中に約570億円（元受企業CDOの約25%）、2012年度末までに約1,940億円（同85%）が償還となる見込み。
- ・当社が保証する企業CDOは、1案件150銘柄程度の分散された参照企業から構成されており、1企業のデフォルトによる影響は限定的である。
- ・金融機関の比率は13%程度、米国自動車関連（部品を含む）の比率も2%程度であり、業種および特定企業への偏りはない。

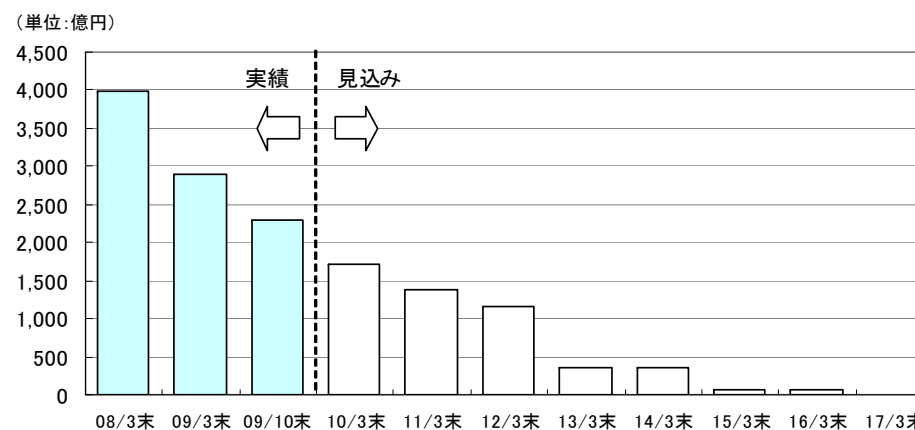
案件格付の構成比



（注）2009年11月11日時点の格付。S&P格付を取得していないものはムーディーズ格付を準用

（注）2009年11月11日時点の格付。ムーディーズ格付を取得していないものはS&P格付を準用

保証残高推移見込



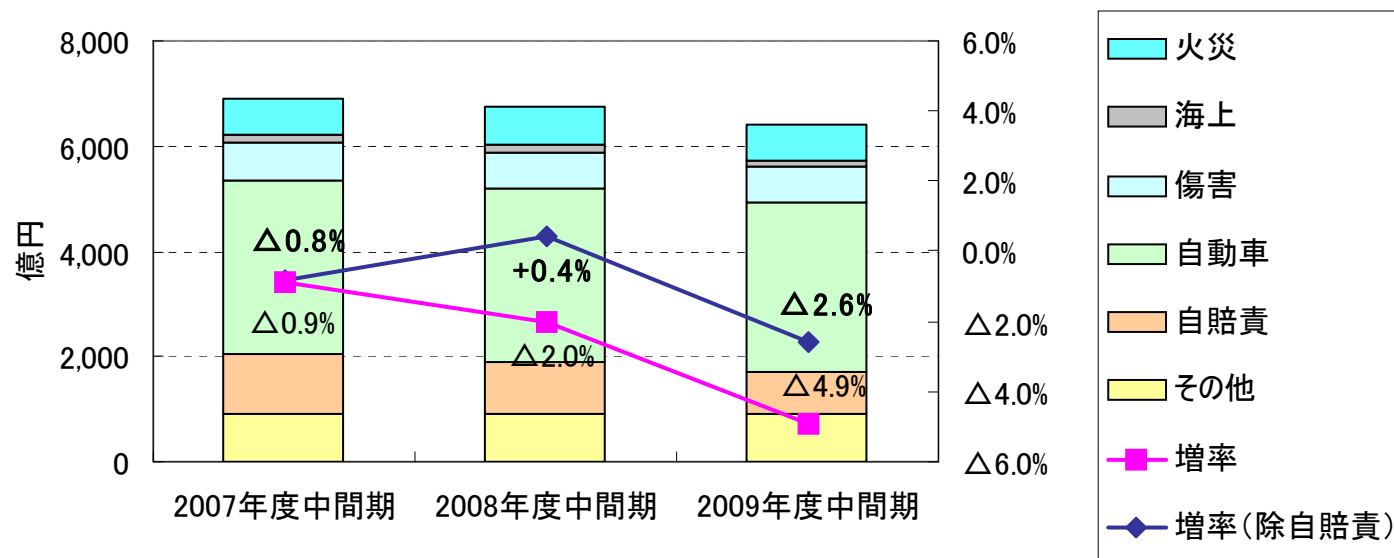
（注）2009年10月末を替レートによる残高推移見込

2009年度中間決算 総括

〈参考〉証券化商品関連エクスポージャー

〈参考〉2009年度中間決算 主要指標

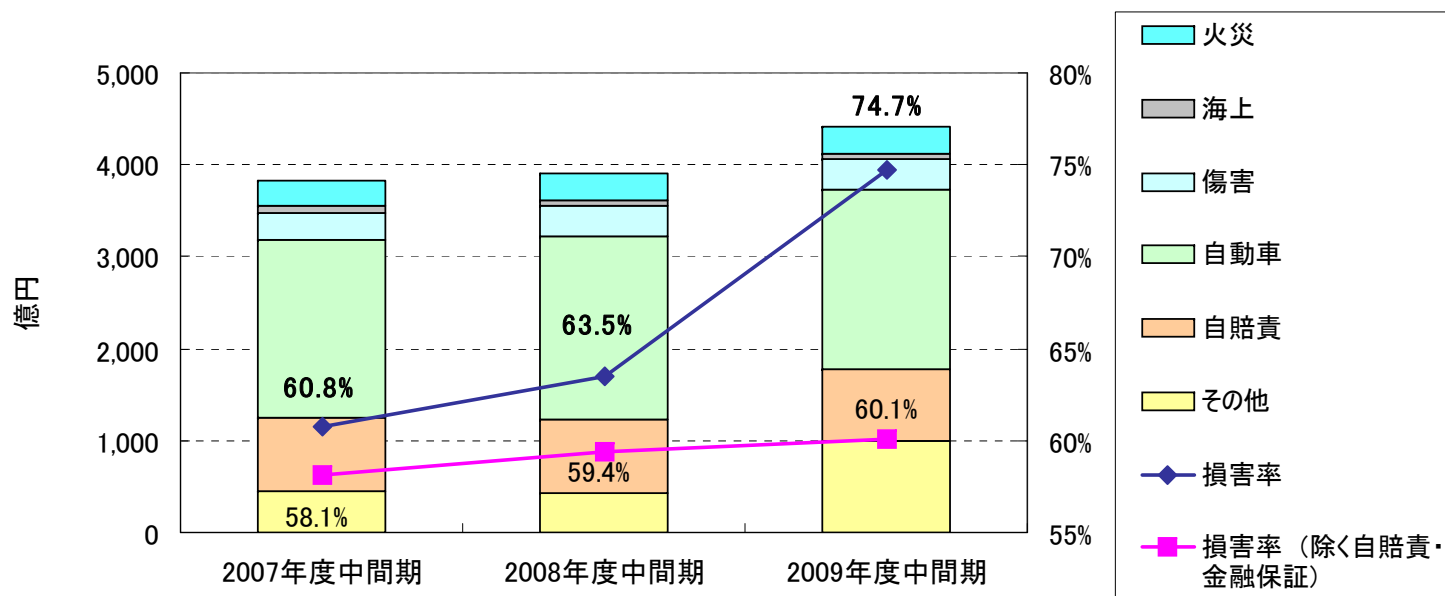
正味収入保険料



(単位: 億円)

	2007年度中間期		2008年度中間期		2009年度中間期	
	金額	増率	金額	増率	金額	増率
火災	674	△3.1%	699	+3.7%	676	△3.2%
海上	161	+2.8%	167	+4.1%	121	△27.5%
傷害	687	+0.1%	685	△0.3%	674	△1.6%
自動車	3,302	△1.3%	3,294	△0.2%	3,226	△2.1%
自賠償	1,167	△1.4%	1,008	△13.6%	823	△18.3%
その他	892	+1.5%	893	+0.1%	894	+0.1%
合計	6,884	△0.9%	6,748	△2.0%	6,416	△4.9%
除く自賠償	5,717	△0.8%	5,740	+0.4%	5,593	△2.6%

正味支払保険金

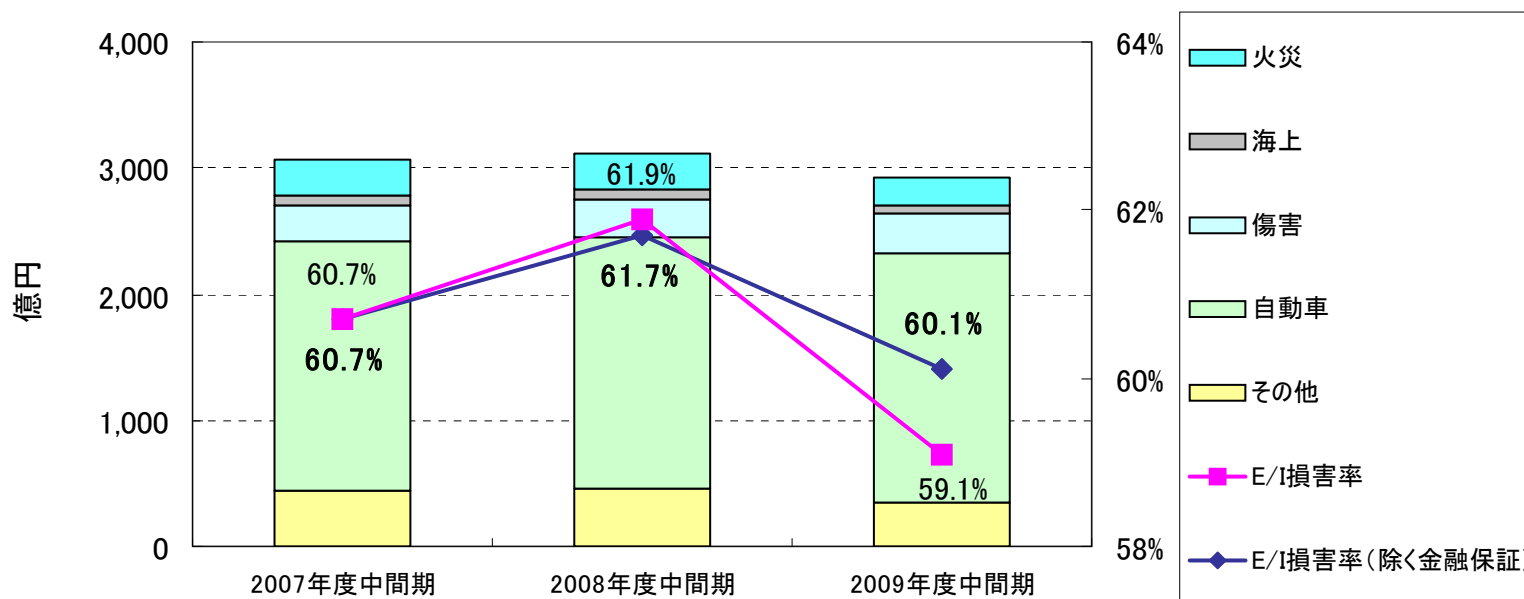


(単位: 億円)

正味保険金	2007年度中間期		2008年度中間期		2009年度中間期	
	金額	損害率	金額	損害率	金額	損害率
火 災	278	43.0%	285	42.5%	289	44.5%
海 上	74	49.2%	72	46.3%	63	56.5%
傷 害	282	44.8%	331	52.8%	331	54.3%
自 動 車	1,941	65.5%	1,982	67.5%	1,942	67.6%
自 賠 責	799	74.0%	815	87.0%	777	101.8%
そ の 他	450	53.6%	420	50.3%	1,004	116.1%
合 計	3,827	60.8%	3,907	63.5%	4,408	74.7%
除く自賠償 金融保証	3,320	58.1%	3,090	59.4%	3,038	60.1%

(注) 損害率には損害調査費を含めている。損害率は、家計地震を除いている。

発生損害額

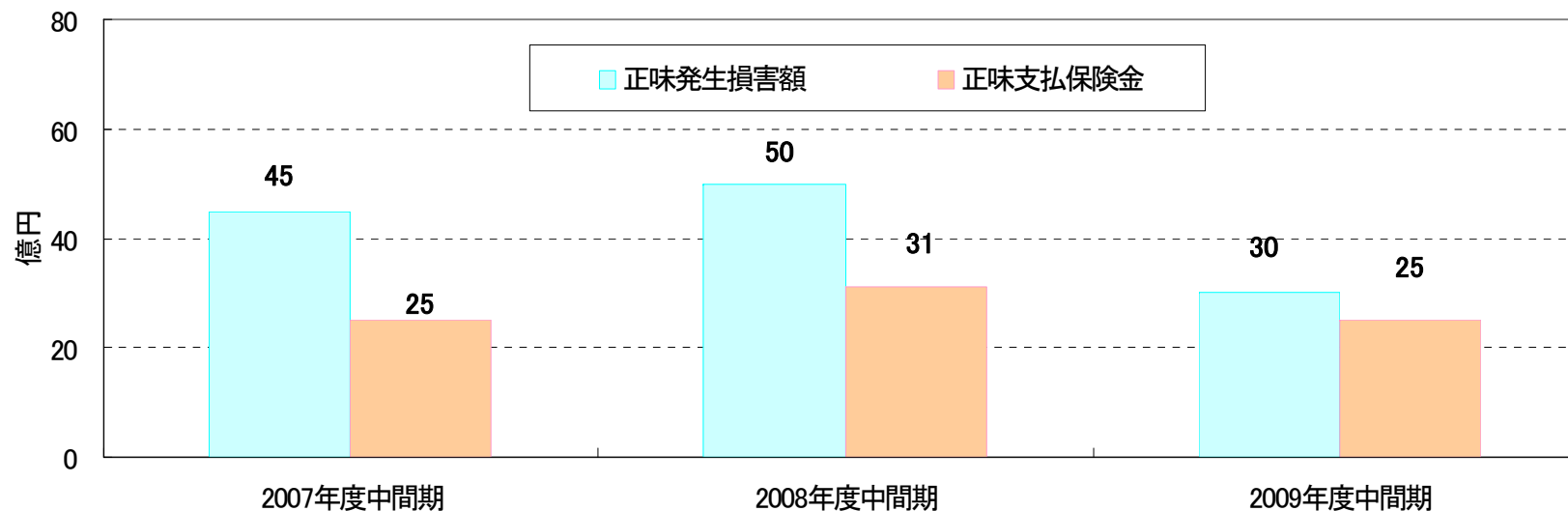


(単位: 億円)

発生損害額	2007年度中間期		2008年度中間期		2009年度中間期	
	金額	E/I損害率	金額	E/I損害率	金額	E/I損害率
火 災	285	42.7%	284	39.7%	220	31.0%
海 上	72	48.9%	82	57.3%	59	53.4%
傷 害	285	50.7%	286	51.7%	317	58.3%
自 動 車	1,984	66.8%	1,996	68.6%	1,982	68.4%
そ の 他	442	61.5%	462	64.4%	344	48.5%
合 計	3,071	60.7%	3,112	61.9%	2,923	59.1%
除く金融保証	3,363	60.7%	3,099	61.7%	2,981	60.1%

(注) 損害率には損害調査費を含めている。損害率は、家計地震と自賠償を除いている。

自然災害の影響

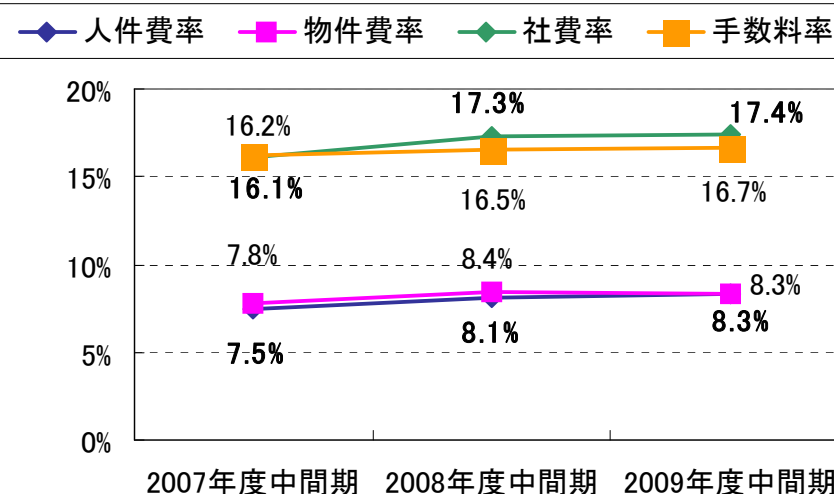
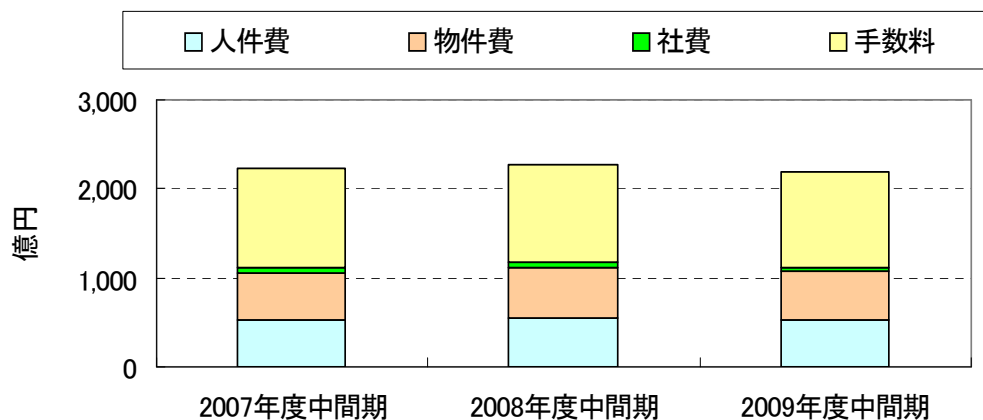


(単位: 億円)

	正味発生損害額			正味支払保険金		
	2007年度中間期	2008年度中間期	2009年度中間期	2007年度中間期	2008年度中間期	2009年度中間期
火災保険	40	25	15	22	14	12
自動車保険	4	22	13	3	16	12
その他	1	1	1	0	0	0
合計	45	50	30	25	31	25

(注) 上記数値は、当年度発生した自然災害に関する損害額および保険金であり、過年度発生分を含まない。

事業費率

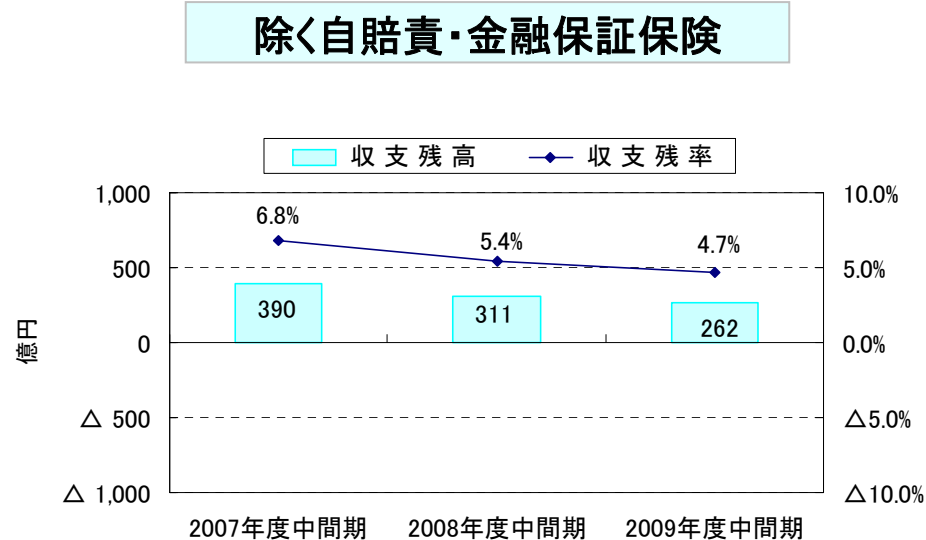
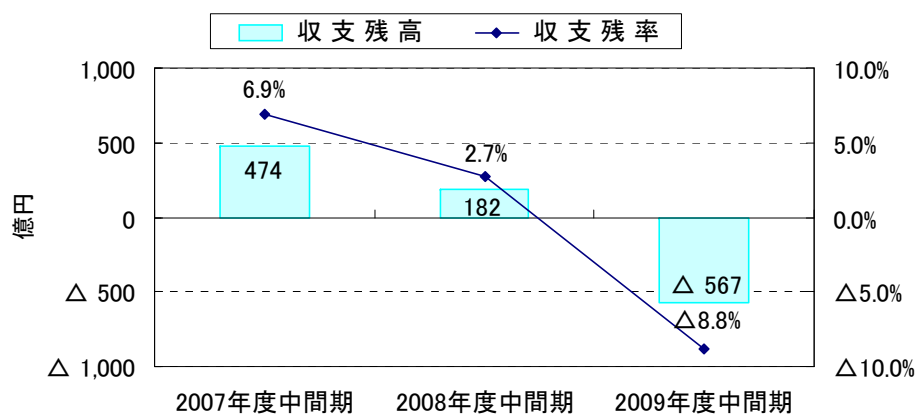


(単位: 億円)

	2007年度中間期		2008年度中間期		2009年度中間期		2007年度中間期		2008年度中間期		2009年度中間期	
	金額	増減額	金額	増減額	金額	増減額	事業費率	増減	事業費率	増減	事業費率	増減
人件費	517	+18	543	+26	532	△11	7.5%	+0.3%	8.1%	+0.5%	8.3%	+0.2%
物件費	535	+96	569	+33	534	△34	7.8%	+1.5%	8.4%	+0.6%	8.3%	△0.1%
税金・拠出金等	56	△1	56	△0	52	△3	0.8%	△0.0%	0.8%	+0.0%	0.8%	△0.0%
社費計	1,109	+113	1,168	+59	1,119	△49	16.1%	+1.8%	17.3%	+1.2%	17.4%	+0.1%
正味手数料	1,117	△11	1,110	△7	1,072	△38	16.2%	△0.0%	16.5%	+0.2%	16.7%	+0.3%
事業費合計	2,227	+102	2,279	+51	2,191	△87	32.4%	+1.8%	33.8%	+1.4%	34.2%	+0.4%
正味収入保険料	6,884	△62	6,748	△136	6,416	△332						

(注) 上記は保険引受に関わる事業費を対象としている。

収支残率



(単位: 億円)

		2007年度	2008年度	2009年度
中間期	収支残高	474	182	Δ567
	収支残率	6.9%	2.7%	Δ8.8%
通期	収支残高	268	Δ626	
	収支残率	2.0%	Δ4.9%	

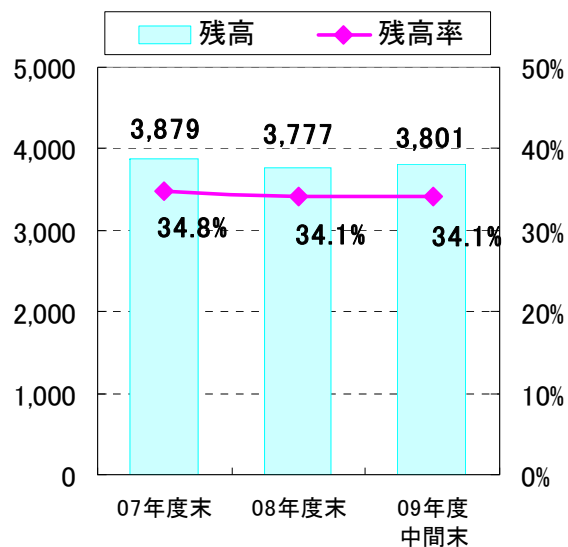
(単位: 億円)

除く自賠償・金融保証		2007年度	2008年度	2009年度
中間期	収支残高	390	311	262
	収支残率	6.8%	5.4%	4.7%
通期	収支残高	156	149	
	収支残率	1.4%	1.3%	

(注) 金融保証は、金融保証保険に係わる保険金のみを控除しており、保険料、損害調査費、事業費は控除していない。

異常危険準備金

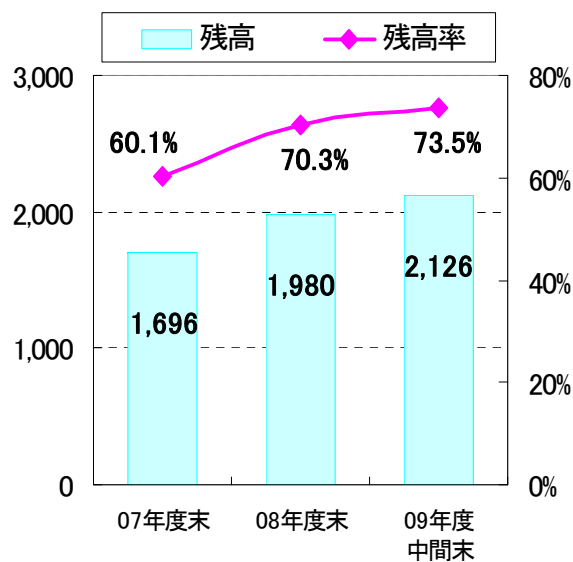
合計



(単位: 億円)

	07年度末	08年度末	09年度中間末
残高	3,879	3,777	3,801
残高率	34.8%	34.1%	34.1%
積増額	37	△ 101	23
(繰入額)	829	826	376
(取崩額)	791	928	352

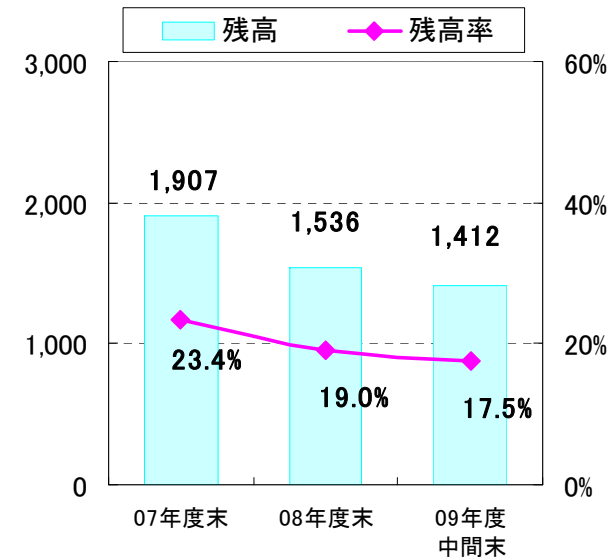
火災グループ



(単位: 億円)

	07年度末	08年度末	09年度中間末
繰入率	10.0%	10.0%	10.0%
残高	1,696	1,980	2,126
残高率	60.1%	70.3%	73.5%
(繰入額)	284	284	145
(取崩額)	-	+0	-

自動車グループ

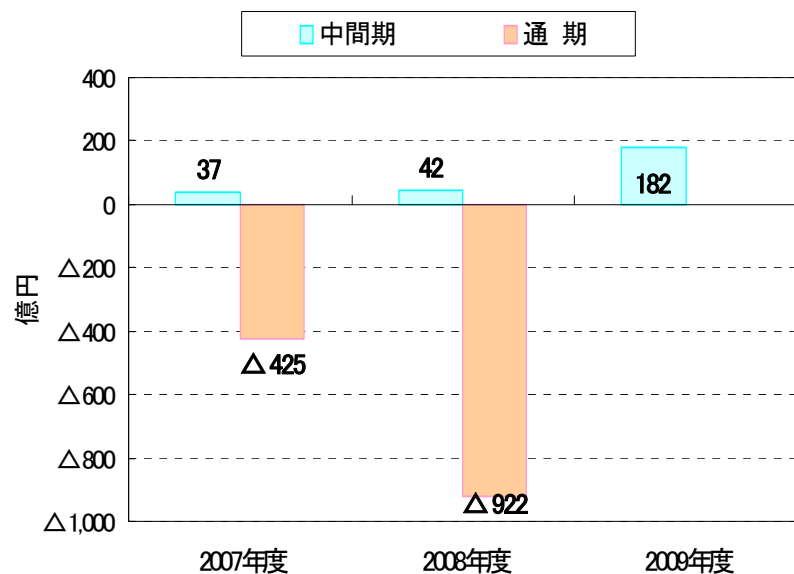


(単位: 億円)

	07年度末	08年度末	09年度中間末
繰入率	6.5%	6.5%	5.5%
残高	1,907	1,536	1,412
残高率	23.4%	19.0%	17.5%
(繰入額)	528	526	222
(取崩額)	787	897	347

保険引受利益

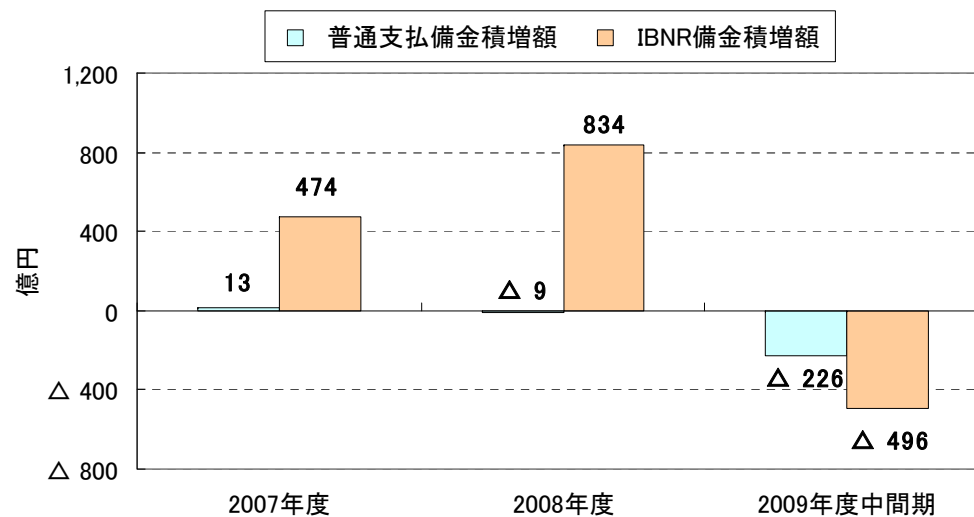
保険引受利益



(単位: 億円)

	2007年度	2008年度	2009年度
中間期	37	42	182
通期	△ 425	△ 922	

支払備金

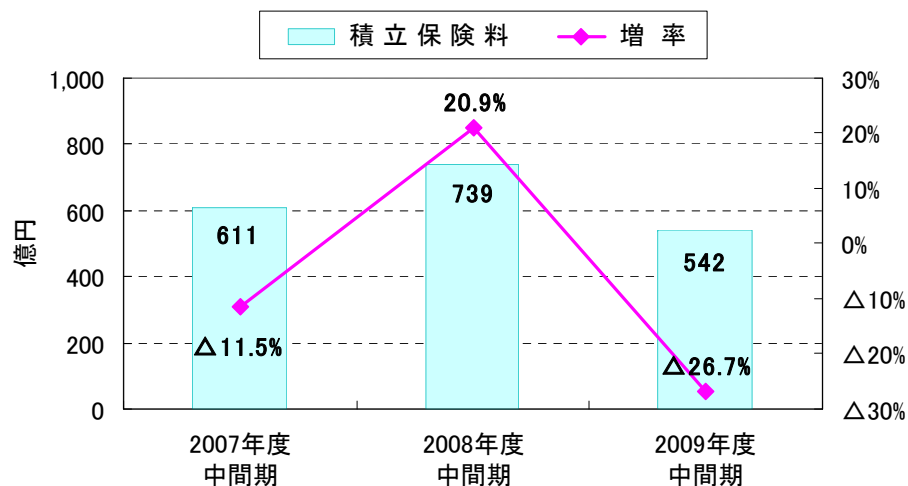


(単位: 億円)

支払備金積増額	2007年度	2008年度	2009年度中間期
普通支払備金積増額	13	△ 9	△ 226
IBNR備金積増額	474	834	△ 496
統計的IBNR	242	△ 106	26
傷害	76	47	△ 9
自動車	156	△ 84	△ 27
労災	△ 2	△ 1	1
賠償責任	12	△ 67	61
金融保証	300	946	△ 494
その他	△ 68	△ 5	△ 27
支払備金積増額合計	488	824	△ 722

収入積立保険料・満期返戻金

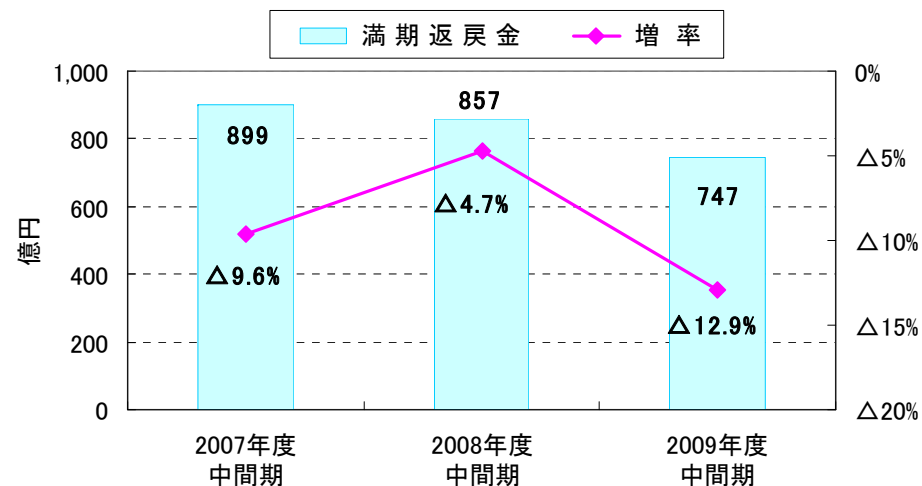
収入積立保険料



(単位: 億円)

	2007年度 中間期	2008年度 中間期	2009年度 中間期
積立保険料	611	739	542
増率	△11.5%	+20.9%	△26.7%

満期返戻金

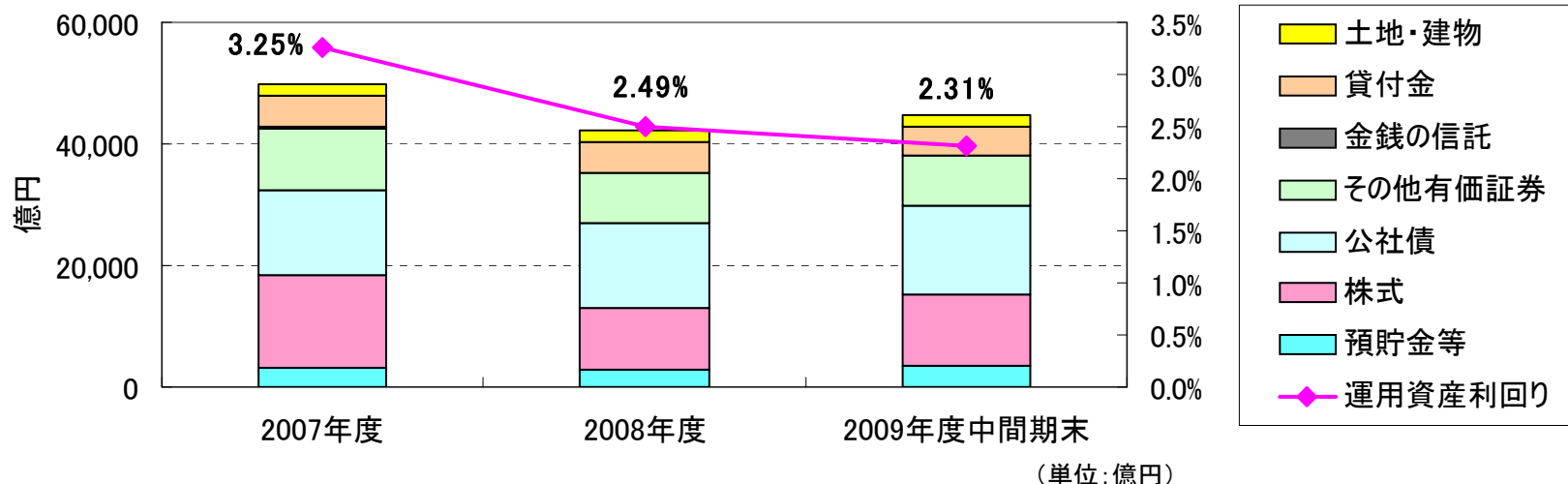


(単位: 億円)

	2007年度 中間期	2008年度 中間期	2009年度 中間期
満期返戻金	899	857	747
増率	△9.6%	△4.7%	△12.9%

(注) 満期返戻金には、契約者配当金を含めている。

運用資産利回り



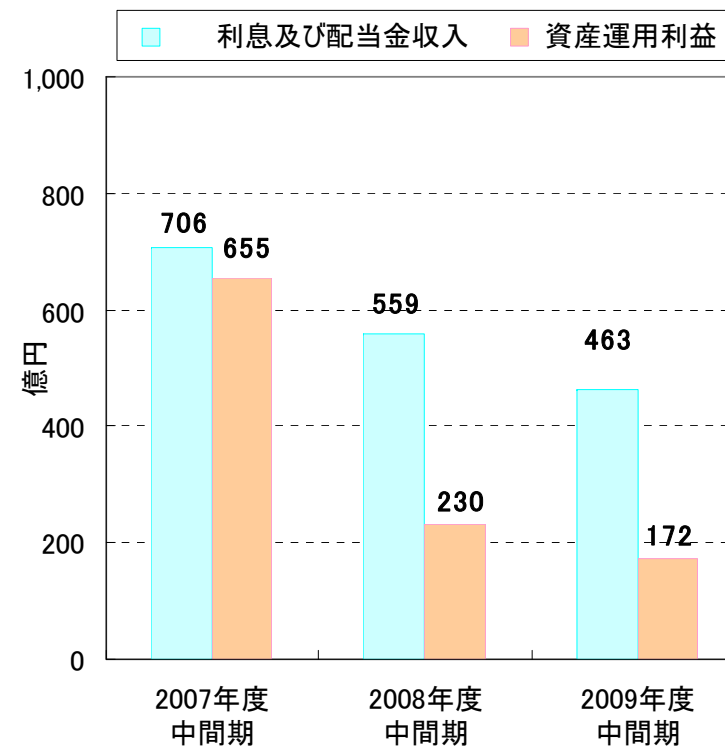
	2007年度		2008年度		2009年度中間期末	
	期末残高	利回り	期末残高	利回り	期末残高	利回り
預貯金	1,187	0.47%	955	0.22%	1,086	0.16%
コールローン	1,088	0.57%	736	0.42%	571	0.09%
買現先勘定	479	0.60%	819	0.48%	1,509	0.14%
買入金銭債権	470	1.39%	401	1.79%	365	1.81%
金銭の信託	393	1.68%	96	1.76%	110	1.39%
有価証券	39,379	3.83%	32,254	2.80%	34,437	2.61%
公社債	14,053	1.37%	13,963	1.45%	14,396	1.49%
株式	15,229	3.98%	10,193	4.04%	11,773	3.13%
外国証券	9,149	6.81%	7,567	3.77%	7,763	3.73%
その他の証券	946	10.96%	531	4.40%	504	8.89%
貸付金	5,060	1.77%	5,020	1.75%	4,823	1.74%
土地・建物	1,943	2.68%	1,926	2.79%	1,897	2.84%
運用資産合計	50,002	3.25%	42,212	2.49%	44,800	2.31%

資産運用利益

(単位: 億円)

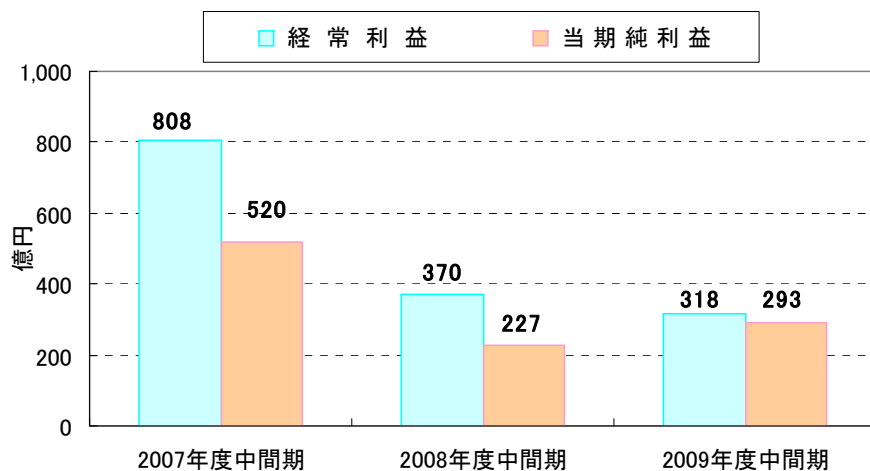
		2007年度	2008年度	2009年度	増減額
		中間期	中間期	中間期	
ネット利配	(+)	477	328	251	△76
利息及び配当金収入		706	559	463	△96
積立保険料等運用益振替		△ 229	△ 231	△ 211	+19
金銭信託運用損益	(+)	28	△ 27	△ 12	+14
売買目的有価証券運用損益	(+)	1	0	0	+0
有価証券売却損益	(+)	208	117	12	△105
有価証券償還損益	(+)	2	△ 0	△ 8	△8
有価証券評価損	(-)	38	82	41	△41
金融派生商品損益※	(+)	△ 8	△ 32	72	+105
為替差損益※	(+)	27	△ 7	△ 26	△19
その他運用収支	(+)	△ 9	△ 25	△ 42	△17
資産運用粗利益		688	271	204	△66
投資経費	(-)	32	32	32	△0
貸倒引当金・貸倒損失等※	(-)	△ 2	5	△ 2	△7
有価証券償却損・投資損失引当金	(-)	3	2	2	△ 0
資産運用利益		655	230	172	△58

(注) 資産運用関係以外で生じた金融派生商品損益、運用部門以外で生じた外国代理店貸等に係る為替差損益、および運用資産関係以外の貸倒引当金・貸倒損失等を除いている。



經常利益・当期純利益

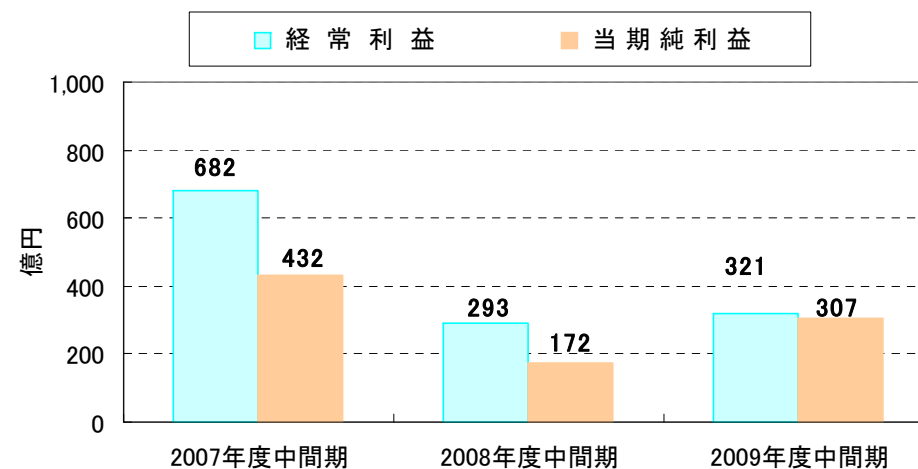
連結



(単位: 億円)

	2007年度中間期	2008年度中間期	2009年度中間期
經常利益	808	370	318
当期純利益	520	227	293

単体



(単位: 億円)

	2007年度中間期	2008年度中間期	2009年度中間期
經常利益	682	293	321
当期純利益	432	172	307

連結決算概要

	2009年度中間			
	経常利益		当期純利益	
	連結調整前	連結調整後	連結調整前	連結調整後
損保ジャパン	321億円	324億円	307億円	309億円
損保ジャパンひまわり生命	9億円	△1億円	4億円	△6億円
損保ジャパンアメリカ	11億円	10億円	7億円	6億円
損保ジャパンヨーロッパ	△1億円	△1億円	△2億円	△2億円
損保ジャパン中国	△1億円	△1億円	△1億円	△1億円
損保ジャパンシンガポール	3億円	3億円	2億円	2億円
南米安田	1億円	2億円	0億円	1億円
損保ジャパンアジアホールディングス	△0億円	△0億円	△0億円	△0億円
セゾン自動車火災	1億円	△4億円	1億円	△5億円
損保ジャパンDIY生命	△2億円	△3億円	△3億円	△2億円
損保ジャパンDC証券	△2億円	△2億円	△2億円	△2億円
損保ジャパン・アセットマネジメント	△1億円	△1億円	△1億円	△0億円
全国訪問健康指導協会	△3億円	△3億円	△3億円	△3億円
合 計		318億円		293億円

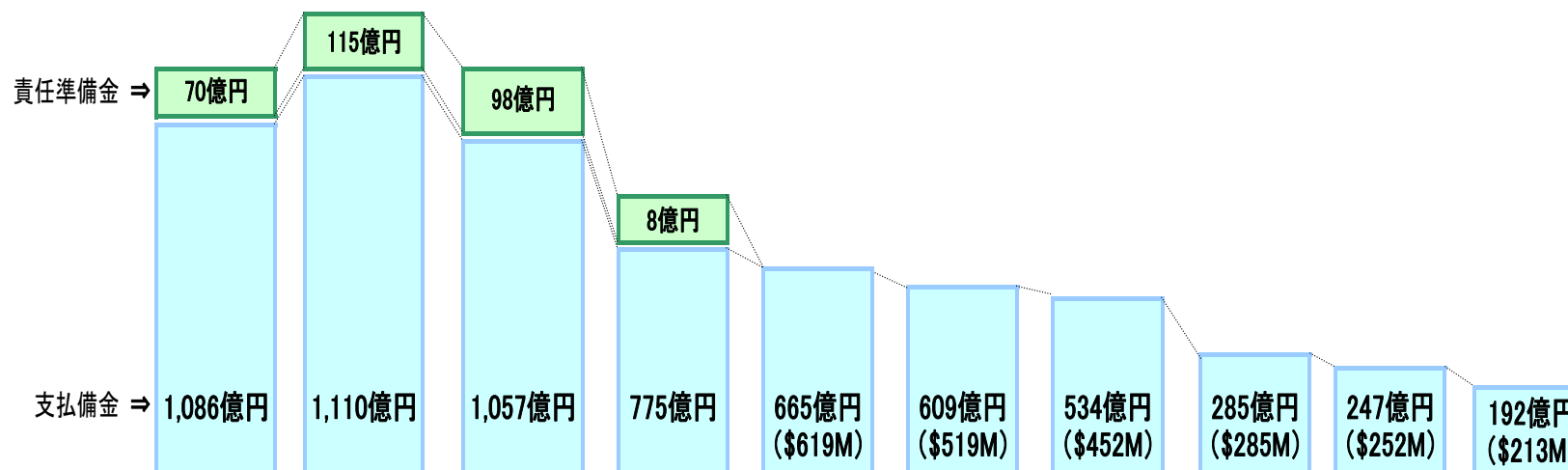
※持分法適用会社は記載していない。

<参考> フォートレス・リー社 (FR社) 関連損失

	02年3月期	02年6月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	09年9月期	FR損失 累計額
保険料	—	▲ 59	+ 65	+ 54	+ 10	+ 22	+ 24	+ 6	+ 8	+ 11	+ 141
保険金	—	▲ 10	▲ 105	▲ 255	▲ 111	▲ 78	▲ 84	▲ 164	▲ 31	▲ 33	▲ 871
手数料	—	▲ 1	▲ 11	▲ 4	▲ 1	▲ 1	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 18
支払備金	▲ 1,086	▲ 24	+ 53	+ 282	+ 110	+ 56	+ 76	+ 248	+ 37	+ 55	▲ 193
責任準備金	▲ 70	▲ 30	+ 16	+ 90	+ 8	—	—	—	—	—	+ 14
その他	—	▲ 194	+ 15	▲ 102	+ 52	+ 176	+ 23	▲ 18	+ 21	▲ 8	▲ 35
期間損益計	▲ 1,156	▲ 318	+ 33	+ 65	+ 70	+ 175	+ 39	+ 71	+ 35	+ 24	▲ 962
								損保J累計 ⇒		+ 512	

(支払備金、責任準備金: “+”は戻入、“△”は繰入)

<支払備金・責任準備金残高の推移>



(注)責任準備金は、日産社で既計上の未経過と合併差益処理分が含まれるため、期間損益の累計と各年度末残高は一致しない。

■ ご注意

本資料に記載された内容のうち、歴史的事実以外の内容については、資料作成時点における把握可能な情報から得られた損保ジャパンの判断に基づく予想および見通しであります。

これら予想および見通しは、将来の業績等が記載された内容通りに達成されることを当社が保証するものではなく、実際の業績等は、様々な不確定要因により、これら予想から大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。